

2期目の4年間で
やってきたこと。

政策提案の報告

4年間の議会でとりあげた主な政策提案です。どの提案も皆さんの願いを受け止め、私が政策へと創り上げたもの達です。どの政策も皆さんと私との「高石への願い」です。

④ 育児休暇中における継続保育の延長

例えば、兄が保育所入所中で妹が生まれ育児休暇を取得した場合。1年間で妹の入所する保育所を見つけないと「家で保育できる家庭」とみなされ、**兄まで保育所を退所せざるを得ませんでした。**

この「見えない待機児童」を解消すべく、「1年間」という要件を「1年間+当該年度の3月末日」と**年度初めの入所しやすい時期**まで延長するよう提案。平成26年度から提案どおり実行されています。

④ 生活保護費の不正受給防止

「年金額より、生活保護額が高いのはおかしい」「保護者のパチンコのお金まで血税で支払われるのは納得いかない」という意見を受け、不正受給の防止とパチンコ店などへの巡回を提案。

平成25年度より囑託を3名増員。しかし、まだまだ根本解決には程遠い状況。**正当な受給者への不要な偏見を防ぐためにも不正受給根絶**に向けて取り組みます。 ※平成25年度不正受給額…116万円9510円

④ 公務員給与の適正化

高石市における給食調理員などの技能労務職の給与はかなりの高額（下表参照）。給与は低ければいいという問題ではありませんが、約1.6倍の官民較差があるこの給与体系は是正していかなければなりません。市民が納得のいく賃金体系の構築が急がれます。

| | 技能職：平均月給 |
|-----|----------|
| 高石市 | 約42万円 |
| 大阪府 | 約35万円 |
| 国 | 約32万円 |
| 民間 | 約27万円 |

④ 議員定数の削減

少数精鋭の議会を目指し、高志会（畑中と松本善弘の二人会派）と議員有志で「**2名削減**」を議員提案。9か月にも及ぶ検討の末、「2名減」の実現可能性が乏しくなり、議員全員で「**1名減**」を共同提案することで決着。個人的には悔しい結果となりましたが、今後も定数のあり方について議論していきたいと考えます。平成27年度より議員定数16名で選挙が行われます。

④ 子供たちが元気に遊べる居場所作り

公園で遊ぶ窮屈さ、安全管理の厳しさなど、大人の都合で子供の遊び場が減っていることから、せめて学校の校庭で「放課後、子供たちが思いっきり遊べるように」と、**遊ぶことでコミュニケーションの基礎が養われるという観点**からも提案。

学童保育や子ども元気広場などの既存サービスを活かさないか、先進市の取り組みや市内学校の放課後の現状を現在調査中です。

④ 他にも取り組んできた政策

- ・【防災】 エリアメールの早期導入（H23 提案）
- ・【防災】 市役所本館の耐震化（H23 提案）
- ・【財政】 国保会計の健全化（H24 提案）
- ・【教育】 通学校区の再編成（H24 提案）
- ・【福祉】 障がい児保育の充実（H25 提案）
- ・【福祉】 こども医療費の拡充（H25 提案）
- ・【教育】 道徳教育の充実（H26 提案）
- ・【福祉】 介護予防施設の充実（H26 提案）…など

※議員は執行権がありません。市議の政策は市役所職員や他の議員の理解があればこそ実現できるものであることも含めてご理解ください。

活動報告【議会外での活動】

1. 林英巨政経塾

「地方から日本を変える」という目的のもと東北～九州までの若手政治家で組織された塾。小手先のテクニックだけではなく、「論語」や「大和言葉」といった現代社会に必要な政治哲学を学んでいます。政治家としての畑中を大きく育ててくれた場所です。



2. 予算要望書の提出

年に4回だけの議会では自分の考えを全て行政に伝えるのは不可能。予算編成にかかる前段階の11月に高志会として「**予算要望書・政策提案書**」を提出しています。約40ページにもなる全文はホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。



3. 学生インターン

モラルの低下が叫ばれる昨今、日本の将来を支える「**強く美しい日本人**」の育成にチカラをいれてきました。今までで約20名もの学生が巣立っていきました。素直な学生と一緒に活動することで、私も初一念を忘れずに活動できています。



4. 滝行

精神修養のため、定期的に御滝に打たれに東大阪は枚岡神社まで行っています。また年に一度、真冬の五十鈴川で寒行をおこなうことで、精神の鍛錬を積んでいます。おかげで日頃のタフな活動も心折れずに続けられています。



5. 青空魚市フリマ

地域の活性と交流を図るため毎月第一日曜で開催されている青空魚市フリーマーケットの運営スタッフをさせていただいています。市内外から約100ブースもの出店により、高石漁港の賑わいを創出しています。



6. 遺骨収集

政治家として「先人への敬意を表す」行動として、沖縄の地で戦没者のご遺骨の収集をおこないました。延々と土を掘りながら、今の自分たちの生活があらゆるものからの恩恵によるものだと思えて身に沁みました。



プロフィール

【生い立ち】

昭和56年生（33歳）高石小・高南中・桃山学院高校・近畿大学商経学部卒。学生時代にカンボジアにわたり、社会や国のために人生を考えている現地の若者の意識の高さに衝撃を受け、政治というものを考え始める。帰国後、合併選挙から高石の現状に危機感を抱き、政治家の道を志す。

※思いのこもったチラシを届けたいので、チラシの文章校正からデザインまで業者に任せず自分で作成しています。誤字脱字等の不備がございましたら誠に申し訳ございません。
〒592-0002 高石市羽衣3-4-16
Tel: 072-263-0522 / Fax: 0723-50-0857
E-mail: gavhattan@hotmail.com
ホームページは、**畑中政昭** で検索ください。